



「SOMPOチャレンジドパーク」へようこそ！

成果 働きやすい環境 成長 個人・チームの成長 高品質 選ばれる品質



「SOMPOチャレンジドパーク」には何が隠れているのか？イラストに込めた情報や障害について毎号紹介していきます！

チャレンジドリ（SOMPOチャレンジド公式キャラクター）がお届けするニュースレターの第2号です。ちょっと一息入れたいときのコーヒーのお供になるような、ほっとするニュースレターを目指しています。

チャレンジドなう

このコーナーではSOMPOチャレンジドパークのチームやアトラクションを紹介するよ。今回は、「新宿オフィス」だよ。新宿オフィスには3つのチームがあるよ！



デリバリーの様子

デリバリーチーム

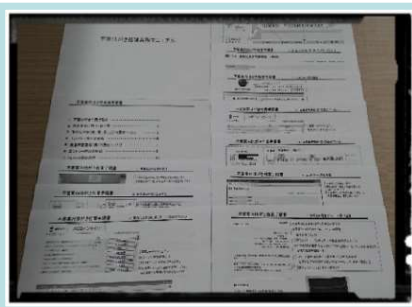
現在6人のメンバー（※）が勤務しています。リサイクル室の運営やメール便のデリバリー、臨時入館証の発行など様々な業務を行っています。メンバーの自律性を重視しており、徐々に細かい指示を出さないようにすることでメンバーが何をすべきか自ら考えて動くことができるようになりました。メンバー同士教えあいながら和気あいあいと業務に取り組んでいます。

※SOMPOチャレンジドでは障がいのある従業員をメンバーと呼んでいます。



データエントリーチーム

現在3名のメンバーで頑張っています。6月に立ち上がったばかりですが、お互い声をかけあい協力して業務に取り組んでいます。主な仕事は損保ジャパン日本興亜に返送されてくるお客様への保険金支払い案内はがきのデータ入力です。それ以外にも損保ジャパン日本興亜で行っているCSR活動の一環である、ちきゅうくらぶのツール管理やキャンペーングッズ（のぼりやはっぴ等）の貸し出し管理などバラエティに富んだ業務を楽しく行っています。



メンバー自作の業務マニュアル：チーム内で意見交換しながらわかりやすいようにブラッシュアップしています。

プリントチーム

合計3名のチーム（うちメンバーは1人）で印刷業務だけでなく、製本作業や折り込み作業、依頼された印刷物の館内デリバリーなども行っています。大きな精密機械を扱うことが多いため、常に正確に丁寧に業務に取り組んでいます。また、協力して作業を行う必要があるため、声をかけあいチームワーク良く作業しています。



整理整頓され、使いやすくなった「リサイクル室」



プリントセンターの印刷機

教えて！チャレンドリ先生！！

このコーナーではチャレンドリ先生が障害者雇用のこと、SOMPOチャレンジドのことなど、新入社員であるチャレミの疑問に答えてくれるよ。



チャレンドリ先生

SOMPOチャレンジドを陰から見守る、頼れる存在。たまに見せる厳しい一面も…？



チャレミ

10月に入社したばかりの元気いっぱいの新入社員。張り切りすぎて少し先走るところもあるが皆に愛されている。

チャレミ：チャレンドリ先生、この間先輩に「それがエンパワメントだよ」って言われました。でもエンパワメントの意味がわからなくて困っています。助けてください。

チャレンドリ先生：ほお～。先輩は難しい言葉を知っておるの。

エンパワメントはビジネスでは「能力開花」「権限移譲」などを意味するぞ。

そして障がい者福祉の世界では「本来持っている能力を十分に発揮できない状態にある利用者、利用者集団に対して、自身の強さを自覚して行動できるような援助を行うこと」を言うのじゃ。

言い換えれば**自分で出来る最大限のことを自分の力でやってもらうこと**とも言えるな。

チャレミ：先輩は新入社員でも、障害があってもなくても出来ることは自分で、ってことを言いたかったんでしょうか？

チャレンドリ先生：その通りじゃ。チャレミさん冴えてるな。身体的な出来るか出来ないかについては周囲の人も比較的わかりやすいが、内面のそれは一見してもわからないことが多い。例えば今チャレミさんがエンパワメントを理解したとしても、それをすぐに行動に移せるまでに想像できているかはわからないじゃろ？
理解力や想像力は人それぞれじゃからな。

チャレミ：確かにそうですね。私は理解力はとても高い（IQが高い）けれどその先の想像力が乏しいと言われてます。すぐに理解は出来るんですが、理解したことをどうすればいいかがよくわからなくて。。。

チャレンドリ先生：そうかそうか。チャレミさんのように理解はできてもその先どこまで出来るのかわからない場合、教える側としては次の順番でやってみるといいんじゃ。

①口頭で説明 ②見本を見せて説明 ③手を添えて一緒にやってみる

口頭で指示しただけでは伝わらなくても、マニュアルがあれば理解できたり、実際にやっている様子を見せたり一緒にやってみることで出来ることも多くある。大事なものは徐々にわかりやすく説明していくことじゃ。

チャレミ：私は今まで口頭の指示では理解できなかったことがたくさんあります。

チャレンドリ先生：じゃが一見難しそうに見えるPC操作も細かい手順書やマニュアルがあると「なんだ、私ってできるじゃない」と思った経験もあろう？

チャレミ：はい、不安に思っていたことが嘘のように出来て嬉しかったです。

それに、私が不安で仕事に取り掛かれないうと、先輩は「怖がらずにまずは何でもやってみなさい」って言ってくれます。「できないと思いつくのではなく、失敗する権利を使っていいんだから。あなたはその権利を持ってるよ」って言われます。

チャレンドリ先生：素敵な先輩じゃ。失敗してもちゃんと先輩や周りがフォローしてくれるからの。どんな職場であっても挑戦する人がいて、たとえ失敗しても、皆でフォローし、次に向けて新たにチャレンジできる風土であることが大切じゃ。

チャレミ：はい、ではさっそく自分の出来ることを探しに先輩のデリバリーに同行してきます！

チャレンドリ先生：ケガしないように、台車の扱いにも気を付けるんじゃよ～。

